

〈研究課題名〉	RFa-1101	温暖化影響評価のためのGPS衛星を用いた高精度水蒸気データセットの作成
---------	----------	-------------------------------------

〈研究概要〉

水は大気中において氷粒、水滴、水蒸気と相転移し、その変動は地球全体の水／エネルギー循環に大きく影響を及ぼす。そのため高精度かつ長期間の水蒸気の絶対量及び時空間変動のモニタリングは大変重要である。

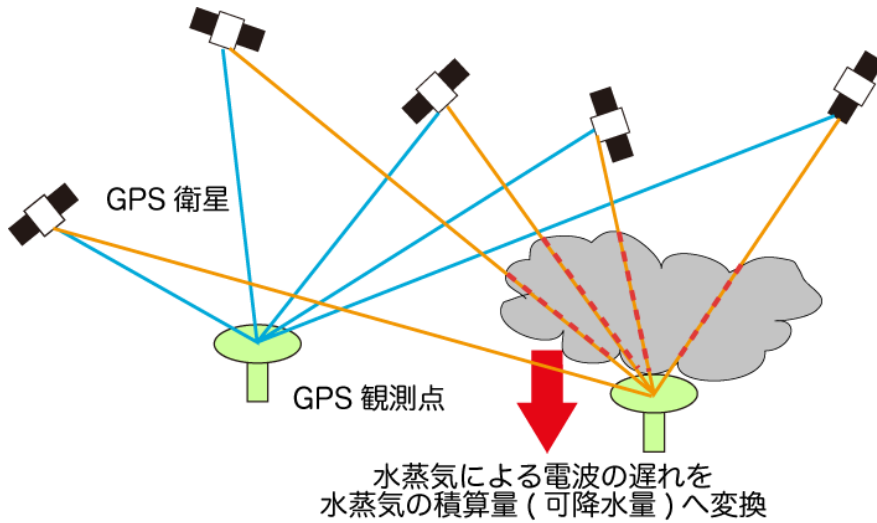
本研究では、GPS衛星搬送波の水蒸気による遅れから算出した、精度・時間分解能の高い水蒸気量のデータセットを作成し、再解析データ／温暖化予測モデルでの水蒸気量再現性の評価を行う。

〈研究代表者〉	藤田 実季子	独立行政法人 海洋研究開発機構 地球環境変動領域 特任研究員
---------	--------	--------------------------------

No.	サブテーマ名		氏名	所属機関名・部局・役職名
(1)	GPS衛星を用いた水蒸気量算出とデータセット作成	◎	藤田 実季子 原政之	独立行政法人 海洋研究開発機構 地球環境変動領域 特任研究員 独立行政法人 海洋研究開発機構 地球環境変動領域 技術研究主事
(2)	再解析データ／温暖化予測モデルでの水蒸気量再現性の評価	○	高橋 洋	首都大学東京 都市環境科学研究科 地理環境科学域 助教

RFa-1101

温暖化影響評価のためのGPS衛星を用いた高精度水蒸気データセットの作成

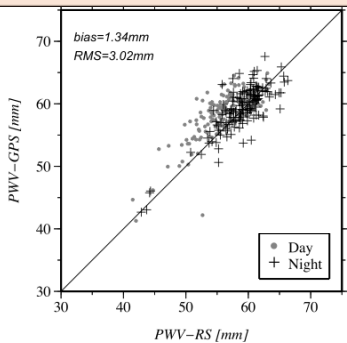


全球高精度可降水量データセット作成

相互比較

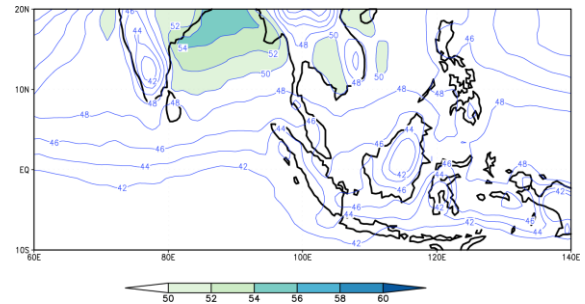
既存観測水蒸気データ

ラジオゾンデ、SSM/I、NVAP等



数値モデル水蒸気データ

再解析データ、温暖化予測モデル出力等



温暖化予測モデルの性能向上に貢献